

～明けましておめでとうございます！！～

新しい年が始まったと思ったら、あっという間に1月も中旬になろうとしています。毎日、厳しい寒さが続いています。体調など崩されていませんか。

さて、今号では、昨年11月に行いました、那須地区社会教育主事有資格者ステップアップ研修について御報告します。国立教育政策



研究所の白井淳子様を講師にお迎えして、「地域との連携・協働を目指して



～学校と地域がビジョンを共有するために～」というテーマで御講話をいただき、その後の演習で、目標

やビジョンを共有するための手段の1つである、「**熟議**」(参加者が、①明確なテーマに対して、②多様な意見を出し合い、③出された意見を工夫して整理し、④互いに理解し合っ、⑤解決方法を考えること)の体験を行いました。

この講話と演習から、社会教育主事有資格者として取り組むべきことについて、新たな視点を示唆していただくと同時に、地域と学校が連携・協働することの大切さを改めて確認することができました。参加者からは、

「学校は、これから地域を支えていくことになる子供たちを育てているのだということを変更して認識し、責任をもってやらなければならないと思った。」「熟議は、現職教育や保護者会等でも、取り組んでみたい。」などの感想が寄せられました。

★★★熟議のファシリテーターに挑戦してみましょう！！★★★

熟議を使って開催できる会議

- PTA関係の会議
- 学校評議委員会
- 地域連絡会議
- 学校運営協議会
- 地域学校協働本部 等

進め方(例)

- ①付箋に書き出す
- ②付箋を分類する
- ③具体策を考える
- ④全体で共有する
- ⑤ふりかえりをする



テーマ(例)

- 子供たちにどう育ててほしいか
- 下校時の安全をどう確保するか
- 地域学習で何を子供たちに教えるか
- 携帯電話の取扱について
- 地域に貢献できることは何か 等

本年度の社会教育主事講習は、7/24～8/25にかけて茨城大学を主会場に開催されました。那須地区からは2名の先生が受講しました。「熱い夏」を共に過ごされた、先生方を紹介します。



那須町立学びの森小学校
高久 修

今回の講習で、学校教育の中では社会教育につながる活動がたくさんあると気付くことができました。社会教育という新たな視点をもつことができ、視野が広がりました。今後の教育活動に、生かしていきたいと思えます。



那須塩原市立稲村小学校
大森 誠

社会教育主事講習を受けて、学校外で行われている教育活動に目を向けることができました。生涯学習の視点を持ち続け、講習で学んだことを、今後の教育活動に生かしていけるよう、努力していきたいと思えます。